



大阪大学グローバルコラボレーションセンター
海外体験型教育企画オフィス (FIELDO)

平成 27 年度
海外インターンシップ 助成
募集要項



平成 27 年 12 月 01 日版

趣旨

将来、国際的な舞台で専門性を生かしながら活躍できる人材を養成することを目的に、下記の要領で、国際機関や国際 NGO、研究所等における学生の海外インターンシップ及び海外プレ・インターンシップ（短期プログラム）を助成します。

1. 海外インターンシップ助成（1 か月間以上） **追加募集 延長**

助成募集期間・募集人数

平成 27 年 5 月 18 日（月）—平成 27 年 6 月 17 日（水）17:00（日本時間）必着
4 名程度（※ 応募が多数の場合は「海外インターンシップ I」の履修生を優先します。）
平成 27 年 11 月 9 日（月）—平成 27 年 12 月 14 日（月）17:00（日本時間）必着
1 名程度（※ 応募が多数の場合は「海外インターンシップ I」の履修生を優先します。）

応募資格 下記 1)～8) すべてに該当すること

- 1) 大阪大学の大学院博士前期課程または後期課程に在籍する学生（留学生を含む*）。
* 奨学金を受給している場合は、注意が必要です。事前にお問い合わせください。
- 2) 履修状況等が次のいずれかの者
 - ・グローバルコラボレーション科目「海外インターンシップ I」を履修している者
 - ・上記科目を平成 26 年度までに履修済みの者
 - ・上記科目の履修生以外の者であってもインターンシップの受入先が決定している者
もしくは交渉中の者*1*2
 - *1 応募時に既に実施している海外インターンシップへの助成は不可。
 - *2 応募者本人が、日本において GLOCOL 担当教員の事前指導を受け、保険加入及びその他の事務手続きを行うことができることを条件とします。
- 3) 応募にあたり、1 か月以上のインターンシップを行うことについて、事前に指導教員の下承が得られていること
- 4) 海外インターンシップ遂行に必要とされる英語もしくは当該国言語でのコミュニケーション能力を有する者。
- 5) 当センターが指定する海外旅行傷害保険に加入すること。
- 6) 学内の他の奨学金・助成金を受けていないこと。
- 7) 同年度に下記 2. 海外プレ・インターンシップ助成を受給していないこと。
- 8) 渡航先が、外務省が発表する危険情報における安全対策の 4 つのカテゴリーのうち、「不要不急の渡航や止めてください」、「渡航は止めてください（渡航中止勧告）」もしくは「退避してください。渡航は止めてください（退避勧告）」との指定がされている地域でないこと。
（参照：<http://www.anzen.mofa.go.jp/masters/risk.html#index02>）

助成額

助成額上限：①1 か月以上 3 か月未満 1 名 20 万円

②3 か月以上 1 名 30 万円

※ 助成額は派遣決定時に確定。実際の助成額は旅費に充当。

(注) 助成金については研修終了後の後払い（本人名義の口座への振込）になります。

平成 27 年 12 月下旬までに受入先が決定し、平成 28 年 2 月末までに開始、平成 28 年 3 月 25 日までに帰国する海外インターンシップが対象となります（進捗状況によっては応相談）。また、最終学年の場合は、卒業式の日までに日本へ帰国することが条件となります。

インターンシップの探し方

自主的にインターンシップ先を開拓し、応募してください。GLOCOL がインターンシップ先を指示、斡旋することはしません。

【派遣先例】 国際機関、国際 NGO、JICA 海外事務所、海外の研究所・シンクタンク、海外の大学付属の研究センター等

【対象】 大学院生

なお、GLOCOL は国際移住機関（IOM）とのインターンシップ派遣協定を結んでおり、過去には経済協力開発機構（OECD）、国際連合教育科学文化機関（UNESCO）アジア太平洋地域教育事務所（バンコク）への派遣実績があります。上記機関でのインターンシップに関心のある学生は、GLOCOL 教員が相談に応じます。

2. 海外プレ・インターンシップ助成（1か月未満） 第2期分募集 延長

助成募集期間・募集人数

平成27年5月11日（月）—平成27年7月7日（火）17:00（日本時間）必着— **募集終了**

平成27年10月1日（木）—平成27年12月14日（月）17:00（日本時間）必着

（随時選考4名程度）

※予定数に達し次第締め切ります。

応募資格 下記1)～8)すべてに該当すること

1) 大阪大学の学部学生及び大学院生（留学生を含む*）。

* 奨学金を受給している場合は、注意が必要ですので事前にお問い合わせください。

2) 履修状況等が次のいずれかの者

- ・グローバルコラボレーション科目「海外インターンシップI」を履修している者
- ・上記科目を平成26年度までに履修済みの者
- ・上記科目の履修生以外の者であってもインターンシップの受入先が決定している者
もしくは交渉中の者*1*2

*1 応募時に既に実施している海外インターンシップへの助成は不可。

*2 応募者本人が、日本においてGLOCOL担当教員の事前指導を受け、保険加入及びその他の事務手続きを行うことができることを条件とします。

3) 応募にあたり、1か月未満のプレ・インターンシップ（短期プログラム）を行うことについて、事前に指導教員の下承が得られていること

4) 海外インターンシップ遂行に必要とされる英語もしくは当該国言語でのコミュニケーション能力を有する者。

5) 当センターが指定する海外旅行傷害保険に加入すること。

6) 学内の他の奨学金・助成金を受けていないこと。

7) 同年度に上記1. 海外インターンシップ助成を受給していないこと。

8) 渡航先が、外務省が発表する危険情報における安全対策の4つのカテゴリーのうち、「不要不急の渡航や止めてください」、「渡航は止めてください（渡航中止勧告）」もしくは「退避してください。渡航は止めてください（退避勧告）」との指定がされている地域でないこと。

（参照：<http://www.anzen.mofa.go.jp/masters/risk.html#index02>）

（注）インターンシップ実施日数が1か月未満であることが条件となります。ただし、前後数日の生活準備・帰国準備のための滞在は可とします。

助成額

上限15万円（渡航先に応じて決定）

（注）助成金については研修終了後の後払い（本人名義の口座への振込）になります。

平成27年12月下旬までに受入先が決定し、平成28年2月末までに開始、**平成28年3月25日までに帰国**する海外インターンシップが対象となります（進捗状況によっては応相談）。また、

最終学年の場合は、卒業式の日までに日本へ帰国することが条件となります。

【対象プログラム】

将来の長期インターンシップ実施に資する海外での短期プログラムもしくはインターンシップに類する体験が可能となる短期プログラム（海外での国際会議及び学会参加は対象外）。

※これまでの派遣実績

- Bluebird Daycare Centre（カナダ）
- Bombay Leprosy Project（インド）
- The Big Issue（イギリス）
- ジャパンタンザニアツアーズ株式会社（タンザニア）
- JICA ニカラグア事務所（ニカラグア）
- パラオ保健省（パラオ）
- Bangladesh Rice Research Institute（バングラデシュ）
- LULI, Ecole Polytechnique（フランス）
- Hajee Mohammad Danesh Science and Technology University（バングラデシュ）
- 国際ボランティア連絡会議（コソボ）
- 日米学生会議（アメリカ）
- Indonesian Institute of Sciences, Research Center for Geotechnology（インドネシア）
- Borderless LINK（ミャンマー）
- BLJ Bangladesh Corporation（バングラデシュ）
- Grameen Bank（バングラデシュ）
- Sayri Warmi（ポリビア）

※事前にGLOCOL担当教員が個別相談に応じます。実習先の適性については書類選考で判断します。

提出書類

(1) 海外インターンシップ助成申請書 1通

※海外インターンシップ助成、海外プレ・インターンシップ助成いずれか応募を希望する方へ印をつけること。また希望する派遣機関及び派遣国を記入。

※指定のURLへアクセスし、必要情報を入力。データ送信とともに、必要事項を入力したデータを印刷し、指導教員の印鑑をもらったうえで原本をGLOCOL吹田または豊中へ提出してください。

※データ送信と印刷した用紙、両方の提出をもって申請受付完了とします。どちらか一方では、受理できませんので、ご注意ください。

(2) Personal History Form または英文履歴書 1通

※インターン先が国連システム諸機関の場合は「UN-Personal History Form」を提出。

その他の機関の場合は「CV見本」を参照。

(3) TOEFL、TOEIC、IELTS、英検スコア（写し）もしくはその他業務に必要な言語能力を証明できるもの

※TOEFL、TOEIC、IELTS、英検スコアの写しは、できれば過去6か月間のもの。なければそれ以前のものでも可。

(4) 既に、インターン希望先と連絡を取っている場合は、連絡状況を示す資料

※電子メールなど。

提出先

大阪大学グローバルコラボレーションセンター・FIELDO オフィス

(大阪大学豊中キャンパス、全学教育総合棟ト3F)

持込みの場合：受付時間（月～金：午前9時～午後5時）内に持参すること。

郵送の場合：下記宛に郵送のこと。

〒560-0043 豊中市待兼山町1-16

大阪大学グローバルコラボレーションセンター・FIELDO オフィス宛

(封筒にインターンシップ応募と明記すること)

Eメールの場合：fieldo_jimu@glocol.osaka-u.ac.jp 宛に提出すること。

(※サイン、押印済みのものをスキャンし、添付ファイルで提出。後日原本を提出すること。)

選考方法

書類審査後、面接を行います。面接の日時は追って連絡します。

選考結果

1. 海外インターンシップ助成

平成27年7月末までに応募者本人宛にEメールで連絡をします。

面接後、2週間以内に応募者本人宛にEメールで連絡をします。

2. 海外プレ・インターンシップ助成

面接後、2週間以内に応募者本人宛にEメールで連絡をします。

※助成対象者に選考された場合でも、平成27年12月下旬頃の時点でインターンシップ派遣の見通しが立っていない、もしくは派遣時期の変更により平成28年2月末までに出発することができない学生には助成を辞退していただきます（進捗状況によっては応相談）。

インターンシップ派遣決定後の必要手続き

助成の対象者は、派遣決定後に下記書類を速やかにFIELD Oオフィスへ提出してください。（※各様式については、後日対象者にメールで送付します。）

- (1) 参加確認書
- (2) 振込依頼書
- (3) 誓約書
- (4) 海外旅行保険証写し
- (5) パスポート写し
- (6) ビザ写し
- (7) 旅程表（フライトスケジュール）
- (8) インターンシップ日程表

インターンシップ終了後の必要手続

助成の対象者は、海外インターンシップ終了後に下記書類を速やかにFIELD Oオフィスへ提出してください。（※各様式については、後日対象者にメールで送付します。）

- (1) インターンシップ活動報告書
- (2) 出張報告書（様式）
- (3) 搭乗券の半券（往復分）
- (4) 航空機の利用日・発着地を記載した領収書
- (5) その他、経費支出の裏付けとなる必要書類（ビザ代、諸税など）

問い合わせ先

大阪大学グローバルコラボレーションセンターFIELD Oオフィス

E-mail : fieldo_jimu@glocol.osaka-u.ac.jp

海外インターンシップ助成申請書：自由記述項目設問
 (海外プレ・インターンシップ助成共通)

字数制限：各設問 300 字以内

1	あなたが将来、目指すキャリアについて述べてください。
2	当該機関でのインターンシップ期間における業務内容及び達成する目標について述べてください。
3	当該機関でのインターンシップが、あなたの将来のキャリア形成にどのように資するかを述べてください。海外プレ・インターンシップの場合は、参加するプログラムが将来的に長期のインターンシップ等を実施するためにどのような効果が期待できるのか述べてください。
4	インターンシップ受け入れ希望先との連絡を取り始めていますか。もし、連絡を取っていれば、受け入れがどの程度確定しているかを書いてください。
5	(海外プレ・インターンシップ助成応募者のみ) プログラムに参加するにあたり予想される経費(参加費、渡航費、現地滞在費等)の総額を算出してください(渡航費、現地滞在費は調べられる範囲で結構です)。
6	渡航先が、外務省が発表する危険情報における安全対策の4つのカテゴリーのうち、「不要不急の渡航は止めてください」、「渡航は止めてください(渡航中止勧告)」もしくは「退避してください。渡航は止めてください(退避勧告)」との指定がされている地域でない。 <input type="checkbox"/> 確認済み(「不要不急の渡航は止めてください」、「渡航は止めてください(渡航中止勧告)」もしくは「退避してください。渡航は止めてください(退避勧告)」との指定がされている地域ではない) <input type="checkbox"/> 未確認